

## 田代中学校の立志式で生徒に激励の言葉 島のごちそう代表の山下さん講演

1月29日に田代中で行われた立志式で記念講話が行われました。講師は、鹿児島県最北端にある離島「獅子島」にUターンし、加工品や漁師のおもてなし料理、漁業体験などを通じて地域を盛り上げる、島のごちそう代表の山下城さん。「人生の価値は得ることより残すこと。夢は声に出すことで叶う」と言葉を贈りました。



「ふるさとチョイスアワード 2020」で事業者大賞に輝いた山下さん。獅子島をもう一度元気になりたいと情熱を燃やし、魅力発信に日々奮闘しています。

後列左から荒武章さん、隈元勇さん、岩下啓式さん、前列左から門田清美さん、岩崎ミチ子さん、久保富子さんの6名に表彰状を授与。



参加できませんでしたが川前清文さんも受賞しています

## 80歳になっても20本以上の歯を保つ 令和2年度8020運動で7名受賞

1989年から国と日本歯科医師会が推進する、「80歳になっても20本以上自分の歯を保つ」8020運動の表彰式が2月1日に行われ、6名に表彰状が手渡されました。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足できると言われ、受賞した岩崎ミチ子さんは、「魚や野菜とバランスよくなんでも食べること」と、秘訣を語りました。

年男男女が務める福の神。5年の厚ケ瀬美咲さんは「こわがり鬼」、柗星乃愁くんは「忘れ物鬼」、永山栄汰くんは「てげてげ鬼」と発表。



## 124年ぶりとなった「2月2日」の節分 宿利原小で開催された豆まき集会

2月2日の節分に合わせて宿利原小で開催された豆まき集会では、全児童10名が自作のお面をかぶり、自分の心から追い出したい鬼を発表。お互いに豆を投げ合って交流を深めました。行事を取りまとめた6年生の安田沙和さんは、「もう少しで卒業なので手を取り合って思い出を作りたい」と、力強く思いを話しました。

会場入口に消毒液を設置し、ふるまいを無くすなど感染予防対策を徹底。日没後は、「悪疫退散」を願って花火も打ち上げられ、新型コロナの早期収束を願いました。



## 無病息災に加え新型コロナ収束も 大原地区で「せっがい」開催

五穀豊穡、無病息災を願って田代地区で行われる「せっがい」行事。今年は新型コロナの影響で1月31日に大原地区のみで開催され、約80名が来場しました。当日は竹を伐り出して高さ約8mのやぐらを組み、還暦や厄年、立志を迎えた中学生など10名が点火。竹の弾ける音が鬼を追い払うとも言われ、白山貞盛館長は「コロナが収束して以前のような活気を取り戻したい」と、炎を見つめながら早期収束を願いました。

## 令和2年度錦江町功労賞 地方自治部門 自治会活動に尽力された3名受賞

2月1日に錦江町功労賞の表彰式が行われ、地方自治部門で自治会長3名が受賞しました。長年にわたり町の発展を支え、自治会活動に尽力した人に贈られるもので、濱崎明雄さん、上鶴豊さん、中野浩一が受賞。人口減少や少子高齢化が進むなか、お互いに支え合う自治会活動の場で、ますますの活躍が期待されます。

自治会長として10年以上、地域活動に取り組んでいる3名。写真左から、中野浩一さん（毛下）、上鶴豊さん（神川中原）、濱崎明雄さん（神之浜一區）



## 節目を迎え大きく一歩踏み出した15名 田代中2年生が立志式で決意表明

江戸時代、数えて15歳を祝う行事として立春に行われていた元服にちなんで、田代中2年の15名が立志式を行いました。当時は成人を祝う行事だったことから、大人になる第一歩として決意や目標を発表。雑草魂や初志貫徹などそれぞれ選んだ言葉に自分を重ね、将来への決意を新たに大きな一歩を踏み出しました。



川邊香那子さんは「すべての川は海を目指して流れ、必ずたどり着く。自分も目標に向かって諦めない心で取り組みたいです」と発表。

「手あらいとマスクで守るみんなのえがお」と思いを込めた田代小2年の浪瀬実理くん。「マスクを外して笑顔で遊べる日が来てほしい」と願いました。



## 「コロナに負けるな！」川柳・標語を募集 応募総数530通から12作品決定

「コロナに負けるな！」をテーマに川柳・標語を募集し、530通の応募から、小学生や一般など各部門ごとの最優秀賞、優秀賞12作品が決定。1月19日に表彰式が行われ入選者に表彰状が贈られました。一般部門で最優秀賞を受賞した白川弘さんは、「川柳を通してマスク着用や感染予防に関心を持って」と思いを話しました。